

信楽園病院だより

第167号 平成27年2月1日 発行

〒950-2087 住所新潟市西区新通南3丁目3番11号 TEL 025-260-8200 FAX 025-260-8199

E-mail renkei@shinrakuen.com ホームページアドレス <http://www.shinrakuen.com>



退院調整委員会の紹介

地域医療連携室看護師長 松井 昌子

超高齢化への道を歩むわが国において、2025年に向けた地域包括ケアシステムを目指すために、私たち病院スタッフに求められることは、「暮らしの場への療養移行」、「継続を支援する看護ケアのマネジメント」を提供することです。また、急速な高齢化だけでなく、独居や介護力のない老々世帯が急増しています。その多くの方が疾病や障害を持っても住み慣れた地域に住み続けたい、最期を迎えたいと望んでいます。それらを実現するのが地域包括ケアシステムです。宇都宮宏子氏は「退院支援・退院調整は患者様の人生の再構築を支援すること」と述べています。



当院の『退院調整委員会』は、平成20年に発足しました。この委員会は、「患者様とご家族が安心して生活の場に戻ることができ、退院後も継続した療養生活が送れるよう、その人に合った適切な援助が行える」ことを目的として活動しています。



退院調整委員会メンバー



メンバーは、病棟、外来、血液浄化療法室の看護師、医療ソーシャルワーカー、居宅介護支援専門員、理学療法士、訪問看護ステーションのスタッフと多職種から構成されています。月1回の会議で、退院支援・退院調整についての問題点や課題を共有し検討します。退院支援が必要な患者様を早期に把握する退院支援スクリーニングシートの検討、スタッフ向けの広報誌の発行、在宅歯科医療の推進、研修を行います。研修は定期的にスタッフ向けの勉強会を開催し、年1回各部署代表による発表会を行い、知識共有する場を提供しています。

2014年10月から7階東病棟にて、地域包括ケア病棟が稼働しました。「病院完結型」の医療から「地域完結型」の医療へと転換する中で、退院調整委員会は、今までの活動を振り返り、地域包括ケアシステムのもと“住み慣れた地域で暮らし続ける”を支えるためにさらに活動を進めていきます。

宇都宮宏子：在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス代表

前京都大学医学部附属病院地域ネットワーク医療部師長・退院調整看護師